

愛媛労働局発表
平成20年4月25日(金)

担 当	愛媛労働局職業安定部職業安定課
	課長 片岡 一 男
	課長補佐 野村 泰 男
	地方労働市場情報官 角 村 修 平
電 話	089 - 943 - 5221

雇用失業情勢について(平成20年3月分)

平成20年3月における雇用失業情勢の概要を次のとおりまとめたので、お知らせします。

1 県内求人倍率

有効求人倍率(季節調整値)は0.88倍で前月を0.03ポイント上回った。

有効求人倍率(原数値)は0.94倍で前年同月と同水準となった。

新規求人倍率(季節調整値)は1.20倍で前月を0.04ポイント上回った。

正社員有効求人倍率(原数値)は0.57倍で前年同月を0.04ポイント上回った。

平成19年度の有効求人倍率(原数値)は0.87倍となり、前年度の0.88倍を0.01ポイント下回った。

平成19年度の正社員有効求人倍率(原数値)は0.52倍となり、前年度と同水準となった。

2 地域別の有効求人倍率

東予地域は前年同月を上回ったが、中予地域、南予地域は前年同月を下回った。

- ・ 東予地域 1.33倍(0.15ポイント上昇)
- ・ 中予地域 0.79倍(0.06ポイント低下)
- ・ 南予地域 0.67倍(0.09ポイント低下)

(原数値、()内は前年同月差)

3 求人の動向

新規求人数、有効求人数ともに前年同月を下回った。

- ・ 新規求人数(原数値)は、前年同月比 5.1%減少
- ・ 有効求人数(原数値)は、前年同月比 0.8%減少

平成19年度の新規求人数、有効求人数ともに前年度を下回った。

- ・ 新規求人数(原数値)は前年度比2.0%減少
- ・ 有効求人数(原数値)は前年度比2.7%減少

[産業別の動向]

産業別に新規求人数の前年同月比をみると、医療・福祉(10.8%増)、製造業(5.8%増)は増加したが、運輸業(18.0%減)、飲食店・宿泊

業(13.9%減)、サービス業(9.8%減)、建設業(9.7%減)、卸売・小売業(9.2%減)の業種で減少した。

[一般・パート別の状況]

有効求人数(原数値)は、前年同月を下回った。

これを、一般とパート別で見ると、一般求人が前年同月比 3.8%減、パート求人は前年同月比 5.9%増となった。

4 求職の動向

新規求職者数、有効求職者数ともに前年同月を下回った。

- ・ **新規求職者数(原数値)は、前年同月比 0.3%減少**
- ・ **有効求職者数(原数値)は、前年同月比 0.6%減少**

平成19年度の新規求職者数、有効求職者数ともに前年度を下回った。

- ・ 新規求職者数(原数値)は前年度比 3.3%減少
- ・ 有効求職者数(原数値)は前年度比 1.2%減少

[態様別状況]

新規求職者数〔常用(パートを除く)・原数値〕の状況

「在職者」が前年同月を上回り、「離職者」、「無業者」は前年同月を下回った。

イ 「在職者」は、前年同月比 12.7%増となった。

ロ 「離職者」は、前年同月比 6.3%減となった。

- ・ 「事業主都合離職者」が前年同月比 3.6%減となった。
- ・ 「自己都合離職者」が前年同月比 7.4%減となった。

ハ 「無業者」は、前年同月比 3.8%減となった。

[一般・パート別の状況]

有効求職者数(原数値)は、前年同月を下回った。

これを、一般とパート別で見ると、一般求職者が前年同月比 2.2%減、パート求職者は前年同月比 5.2%増となった。

5 就職件数

就職件数は、2,911件と前年同月比5.4%増加した。

平成19年度の就職件数は、前年度を 0.8%下回った。

6 雇用失業情勢の判断

雇用失業情勢は、一部に厳しさが残るものの、改善を維持している。

愛媛労働局では、雇用失業情勢の一層の改善が進むよう、雇用のミスマッチ縮小を最重要点にフリーター等若年者対策や地域との連携による雇用対策を、積極的に推進しているところである。

平成20年4月分の求人倍率の公表予定日

愛媛県内分(愛媛労働局取りまとめ):5月27日(火)

全 国 分(厚生労働省取りまとめ):5月30日(金)